

不正会計検知の 最新動向と監査の応用例

2018年

10月19日(金)

16:20~17:50

[会場] 熊本学園大学
14号館2階1422教室

東芝の事例をはじめ、会計不正があとを絶たない状況において、会計監査の手法はどのように変わっていくのか。不正会計検知の最新動向について、監査法人と協働して不正会計の予測の研究を進める首藤氏より報告を受け、不正監査の現状を理解するとともに、今後の監査のあり方を検討する。

講演者

しゅとう あきのぶ
首藤 昭信 氏

東京大学大学院経済学研究科准教授。専門分野は財務会計。
著書には、『日本企業の利益調整—理論と実証—』(中央経済社)がある。

【職歴】 2002年4月 専修大学商学部 専任講師
2004年4月 同 助教授
2007年4月 同 准教授
2008年4月 神戸大学経済経営研究所 准教授
2015年4月 東京大学大学院経済学研究科 准教授

参加を希望される方は、FAX・E-mailのどちらかにより事前の申し込みをお願いいたします。
申し込みの際は、ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記ください。申込締切10月17日(水)
※駐車場がございませんので、公共の交通機関のご利用をお願い申し上げます。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学附属産業経営研究所(担当:学術文化課)

FAX: 096-364-5201(専用)

E-mail: sankei@kumagaku.ac.jp

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1

TEL: 096-364-5161(代表)